

(仮称)北統合中学校 第1回学校再編代表者会議を開催しました

1月26日(月)午後6時30分からひかた市民センターにおいて、(仮称)北統合中学校学校再編代表者会議を開催しました。

初めに、教育長から委嘱書の交付があり、各中学校区から12名ずつ選出された計24名を委員として任命しました。その後、会長・副会長の選出が行われ、会長は第二中学校PTA顧問の井ノ上直人さん、副会長は干潟中学校PTA会長の高安忠廣さんになりました。

今回の会議では、学校再編基本方針で掲げる「琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設すること」を議題とし、意見交換が行われました。

委員からは「既存の校舎活用の場合と新設する場合の費用を比較してほしい」、「北中と南中で一つの学校とした場合、今の二中の校舎を使っても十分な教育活動ができるのはいつ頃か」、「今の案だと学校ができる頃にはまた次の統合を考えることになるので学区の見直しをすべき」などの質問や意見がありました。(詳細は裏面に掲載)

次回会議では、質問に対する資料を提供しながら、さらに議論を深めていきます。

(仮称)北統合中学校 代表者会議委員

学区	役職	氏名
第二 中学 区	PTA顧問	井ノ上 直人
	PTA顧問	諸持 典明
	PTA会員	大林 哲也
	新町仲町区区長	浪川 正彦
	江ヶ崎西町区区長	中村 輝彦
	第二中校長	齊藤 実
	主任児童委員	金谷 茂
	青少年相談員	宮野 智
	小学校保護者	廣岡 美穂
	小学校保護者	高埜 真奈未
	保育所保護者	宮内 大知
	保育所保護者	高安 めぐみ
干潟 中学 区	PTA会長	高安 忠廣
	PTA副会長	鍋木 正彦
	PTA会員	高木 真弘
	中11区区長	菅谷 圭一郎
	西18区区長	越川 雅昭
	干潟中校長	溝口 洋樹
	民生委員	大湊 一文
	青少年相談員	石井 和芳
	小学校保護者	藤崎 理佐
	小学校保護者	井上 真実
	保育所保護者	高木 奈保子
	学校運営協議会委員	花香 武見



第1回代表者会議の様子

第2回会議予定 日時:令和8年2月24日(火) 午後6時30分～

場所:ひかた市民センター

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

※役職はR7.7月時点のものです

第1回学校再編代表者会議で出た意見一覧

委員から出た意見を要約して掲載しています。

○スクールバスを使用して二中または海上中に通学することは実際に可能なのか聞いてみたい。

○今の再編案でやっても2038年には100人台になり、また統合という話になってしまうので、20年後、30年後も子供たちがいい環境で学校生活が送れるよう、新設するのなら先々のことも考えて進めたい。

○過疎地域に新しく学校ができることに大きく期待しているので基本方針には賛成。既存の校舎を使って学校運営するのと、新しく校舎を建てて学校運営するのでは、どちらがお金がかかるのか、はっきり聞きたい。

○二中側も干潟中側も問題視している部分は人数や費用のことだと思うので、そこについて詳しく聞いていきたい。

○基本方針通りにやってもあまりにも生徒数が少なく、すぐに成り立たなくなってしまうと思うので、費用的にも全体のバランス的にも反対。もしやるのであれば、干潟・豊畑学区の生徒も繰り入れる必要があると思う。

○一度校舎を建てると維持費もかかるし、仮に広域農道を通るとなったら道幅が狭く、街灯もないため反対。過疎地域でも出生率が上がっているところもあると聞くので、市では今までどのような対策をしてきたのか聞きたい。

○子供たちをいい環境で育ててあげたいという思いがあるので、賛成に近い立場にある。全国的にこんな素晴らしい環境の中学校があるという事例があれば教えてもらいたい。

○お金をかけて新設しても続かなくては意味がないので、学区の見直しをするべきだと思う。北中と南中の人数が入るだけの校舎を二中に増設すると、どのくらい費用がかかるのか知りたい。

○仮に北中と南中で一つの学校にしても、既存の校舎では教室数が足りないのので、いつ頃になれば二中または一中の校舎を使用しても、十分な教育活動ができる環境になるのか知りたい。

○学区の見直しをして干潟・豊畑学区の生徒も入ってもらったほうが生徒数のバランスが整うと思っていたが、干潟中が令和14年には2桁になってしまうので、いろいろ意見を出し合って、よりよい方向にまとまっていけばいい。

○スクールバスを活用するにしても、学校側としては制約される部分もある。干潟中だけでは令和14年には2桁の生徒数になってしまうが、北中にすれば200人は確保できるので、十分な教育活動は可能だと思う。

○過疎地域の子供たちを守るということでも基本方針に賛成。旭市に見合った全国的に成功しているモデルケースがあればそれを参考にできる。

○実際に豊畑小から共和小まで自転車で行ったところだいぶ遠かった。子供たちのことを考えると干潟・豊畑学区の生徒はより近い学校に行ったほうがいいのかと思うので、基本方針に賛成で傾いている。

○この5校では生徒数が少なく、ほかの統合校とのバランスも良くないので、学区の見直しをしたほうがいいのか。

○どちらかと言えば賛成で思っている。教育関係者の方達がいろんな長い目で見て考えている案に対して特に反対はない。

○干潟中は建物の耐用年数も迫っているのでも統合は仕方ない。これまで干潟地域だけで話してきたので、これから二中側の意見も聞きながら上手くまとまっていけばいいと思う。

○基本方針の再編案では生徒数が少なく、学校ができる頃にはまた次の統合を考えないと存続できなくなってしまう懸念があるので、学区の見直しをしてほしい。

○旭市の財政について心配だと思うことがあり、基本方針には反対していた。スクールバスで通うのがいいと思っていたが、それも一定数課題があるというのがわかった。

○一気に中学校の数を減らすと柔軟な対応ができなくなるので、まずは基本方針通りの学校数でいいと思う。既存の学校を活用した場合にどのくらい費用がかかるのかを知りたい。

